

令和8年度（数学B）シラバス

教 科	数 学	科 目	数学B		
単 位 数	2	学 年	2	類 型	理 系
教 科 書	高等学校 数学B（数研出版）		副教材	クリアー 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）	
学習目標	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期		
2 学期	第1章 数列 第2章 統計的な推測	数列、等差数列、等比数列について理解し、その一般項や和の求め方を学ぶ。 Σ記号の使い方や表し方について学んだり、階差数列を用いて数列の一般項を求めたりする方法を学ぶ。 確率変数とその分布について理解し、不特定な事象の考察に活用できるようにする。正規分布について理解し、二項分布との関係を調べることができるようにするとともに、正規分布を用いて不特定な事象の考察をできるようにする。
3 学期		

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	数学Bにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・補習テスト
思考・判断・表現	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。	・定期考査 ・発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・授業に取り組む態度 ・授業中の発言 ・ノートや課題等における記述 ・自己評価